

No. 7 4

新春号

電機連合 西四国地協ニュース

発行所
全日本電機・電子・情報関連産業
労働組合連合会
西四国地方協議会
発行人 芥川 正
編集人 上甲 章史
〒790-0066 愛媛県松山市宮田町132
愛媛県勤労会館内

新年あけましておめでとうございます。

日頃からの西四国地協に対するご支援、ご協力に心より感謝申し上げます。
皆様、ご家族とともに健やかに新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年を振り返り

新型コロナウイルス感染症の急激な拡大により、世界的規模で社会や経済が大打撃を受け、日常においてもマスク着用や三密回避が常態化するなど、私たちの生活や働き方も一変した大変厳しい年となりました。そして、今もなお全国で感染者が後を絶ちません。感染症によりお亡くなりになられた方のご冥福をお祈り申し上げるとともに、罹患されている方の1日も早い回復と、今も最前線で戦っている医療従事者の皆さんに感謝しご安全を祈っています。



国内外の社会経済状況

世界経済は新型コロナウイルスの感染拡大により、大恐慌以来ともいえる大幅な景気後退局面に陥りましたが、昨年末より欧州や米国などでワクチン接種が始まるなど、今後のワクチン普及とともに徐々に回復に向かうと予想されています。

国内は、感染拡大による大幅な落ち込みを補う経済対策により回復傾向に転じていましたが、更なる感染拡大により首都圏を中心とする緊急事態宣言の発令、一方で感染力の強い変異種が日本でも見つかるなど、まだまだ予断を許さない状況です。今後の社会経済の回復には、世界規模でのワクチンや治療薬の早期開発・普及がカギとなりますが、安全性、有効性、生産性など課題もあり、先行きは不透明です。

2021年闘争

新型コロナウイルスが、社会・経済、そして私たちの生活や働き方に多大な影響を及ぼしている中、2021年闘争も大変厳しい交渉になることが予想されます。今次闘争においても、雇用の確保を大前提に、「生活不安、雇用不安、将来不安」の払拭と、電機産業の更なる成長に向けて、継続した「人への投資」に取り組むことが重要です。コロナ禍の厳しい状況ですが、ニューノーマルな生活や働き方の中で、労働者が安心・安全に働くことのできる環境整備や、生産性運動三原則に基づく、継続した賃金改善や働き方の改善に、地協と加盟組合で連携し取り組んでいきます。

政策制度への取組みの継続

昨年は、国政にも大きな変化がありました。安倍首相の辞任により菅新内閣が誕生し、野党では、立憲民主党と国民民主党が合流し「新党（立憲民主党）」が結成されました。電機連合組織内議員である矢田・浅野両議員は、合流新党の一部政策の違いから現時点での参加は見送り、これまでの国民民主党の政治的スタンスや基本政策を受け継ぐ「新国民民主党」に参加することとなりました。今後も、電機連合の目指す、働く者のための政策制度の実現に向けて取り組んでいただくためにも、引き続きのご支援・ご協力をお願いいたします。

結びに

今年の干支の丑（うし）年は、「我慢（耐える）」や「発展の前振れ（芽が出る）」を表す年で、結果に繋がる道を一步一步着実に進み続けることが大切な年とも言われます。今後も、自粛や感染対策の継続など、まだまだ我慢の年となりそうですが、安全健康を第一に、目標達成に向け一歩ずつ取り組みを進めていきましょう。

最後に、一日も早く新型コロナウイルス感染症が終息することを願うとともに、この新しい年が、皆様とご家族にとって輝かしく健康で幸せな一年になりますことをご祈念申し上げ、年頭のご挨拶と致します。本年も宜しく願いいたします。

電機連合西四国地方協議会 議長 芥川 正

謹んで新春のお喜びを申し上げます。

今年は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防のため帰省を控えるなど、例年とは異なる過ごし方をされた方が多くいらっしゃると思います。世界中で猛威を振るっている新型コロナウイルスは私たちの生活や経済に甚大な影響を及ぼし、世界は深く傷つきました。感染者数は12月初旬に世界で6400万人、日本では15万人を超え、残念ながらお亡くなりになられた方が世界で約150万人を数え、経済は大恐慌以来の最悪の状態に陥りました。いまだに終息の兆しが見えず、不安な日々が続いていますが、一日も早く安心して生活できる日が訪れることを願うばかりです。



世界は今、大きな転換期を迎えています。大国の対立や自国優先主義などにより世界情勢は不安定さを増しています。新型コロナウイルスによる経済・社会への打撃のみならず、貧困や環境問題など深刻な課題が山積している状況にあります。また、デジタル革命が社会に急速な変化をもたらし、今後もその流れが一層加速していくものと思われれます。

日本においては、世界に類のない超少子高齢化の進行、人口減少社会、社会保障制度の持続可能性の懸念などの構造的課題に加え、新型コロナウイルスの感染拡大により社会システム、セーフティーネットの脆弱さが露呈するなど、私たちを取り巻く環境は厳しく、激動の時代を迎えています。

これまでの概念や価値観が一変し、経済や社会、そして私たちの暮らし方、働き方が大きく変わろうとしています。いかなる状況下においても、私たち労働組合は「人」を中心に据えて、新たな生活様式、雇用の維持、多様な働き方の環境整備など安心して暮らし、働ける社会の構築に向けた取り組みを一層強化していかなくてはなりません。

コロナ禍で対面型のコミュニケーションの場が限られていますが、その一方でオンラインシステムを活用するなどコミュニケーションの選択肢が増え、利便性や機動性が高まりました。電機連合に集う加盟組織、地協、組合員の皆さんとの接点を強化し、時代の転換期を乗り越えていきたいと考えています。

新型コロナウイルスの一刻も早い終息と安心・安全な生活が戻ることを願うとともに、2021年が皆様にとって、実り多い一年になることをご祈念申し上げ、新春のご挨拶とさせていただきます。

電機連合中央執行委員長 神保 政史

地協活動報告

組合役員としての心構えを

2020年10月24日(土)に愛媛県勤労会館(松山市)で新任役員セミナーを開催しました。加盟組合から今期組合役員となった13名が参加しました。富士社会教育センターの武田講師より、労働組合の歴史をはじめ民主的労働運動の進め方など、これから役員として活動するための基礎的な知識を学びました。



地域での運動展開に求められるものは

2020年11月6日(金)、中国・四国ブロックの各地協と電機連合本部をWEB会議システムでつなぎユニオンセミナーを開催しました。西四国地協は松山市の会場から、加盟組合の役員11名が参加しました。

今回は新型コロナウイルスの影響を受け、地協ごとの会場設置となり、地協間の人材交流はできなかったものの、WEB活用による参加者の移動時間短縮など、一部メリットもありました。電機連合本部の各講師からは、これからの電機連合の運動・活動や課題提起などを踏まえ、参加する役員への期待と要請もあり、今後の地域での活動に対する方向性を確認し、理解を深めることができました。



もしもの時に困らない為に、助け合い運動の推進



2020年12月19日(土)に、電機連合共済加入促進担当者会議を開催し、加盟組合からは役員・書記スタッフ・福祉担当者24名が参加しました。

会議では、電機連合共済センター(東京ほか)や加盟組織の拠点をWEBで接続し、2021年度の取り組み基本方針の説明や2021年度の各種共済の改善内容、また現在のような環境下での新たな推進ツールと活用方法について説明を受けました。

今後は各組織で組合員への情報展開を行い、取り組みを進めていきます。

2021 **お年玉クイズ** 正解者の中から、抽選で50名の方に
図書カード(2,000円)をプレゼント

コナ
負けるな!

~~間違~~い探し
つてない?



去年は、新型コロナウイルスの猛威により、仕事や生活面でも自粛や行動制限が多く、ストレスが発散できないことも多かったですね。さて、そんなあなたのストレスを少しでも解消できるBIGチャンスです。
右の写真を比べて**間違っていないマスの記号を2つ**つけてください。



✂ 切 り 取 り 線

応募用紙

こたえ 下段写真の記号→

締め切り 2月26日までに所属組合へ提出をお願いします

組合名	
職場名	
名前	